

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

評価実施日 令和3年 1月 18日

事業所名 放課後等デイサービス 第2アップル

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	5				
	2	職員の配置数は適切である	6	1				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3	1			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	1			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7					
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		3			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	1	2		外部評価は実施していないが、保育現場を第三者に見学してもらって評価や助言をいただく機会を持っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7					個別課題を解決するための研修を外部指導者に依頼している。またスタッフ会議で伝達研修を行っているが、今後さらに充実した内容にする必要がある。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7					
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			1	原案を作成後、会議において意見をまとめて立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7					
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7					
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1			個々の将来に向けた課題に沿って個別、集団の活動を組み合わせている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			1		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	1	1	全員一同に会することができないが、スタッフ全員で内容を共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		1			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7						
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7					
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7				送迎時、必要時等々に情報の共有を図っている。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	3		1	対象児童はないが、連絡体制は取れている。		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2		1	小学校入学当初は就学前の情報を得ようとしている。		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2		2	対象があった時には情報提供を行う。		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7				関係機関助言、研修講師を招聘し連携を保っている		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	4		交流を試みるが子供たちの受け入れが難しかった。	地域の活動に積極的に参加する必要がある。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2			2	第一アップル、第二アップルの代表が参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7						
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4		2		ペアレントトレーニングとして実施できていません。保護者との面接で、家庭の関りとして助言しています。今後は継続した支援ができるように検討していく。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			1			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7						
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	1	2	コロナ禍で感染防止の観点から今年度は実施できていない。	保護者からの要望があることは承知しており、時期をみて実施していく。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7					苦情としてはなし。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7						
	35	個人情報に十分注意している	7						
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7					ことばだけでなく目でわかる絵、文字を利用。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5	2			地域イベントに参加。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	4	1			各種マニュアルを改訂し、スタッフ会議で共有していく。	
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7						
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1		1			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	2					
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1				指示書はないが、保護者から聞き取りをしている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	4		1		何度もヒヤリハットの事例を確認し、職員が認識できるようにしていく。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 2月 1日

事業所名 放課後等デイサービス 第2アップル 保護者等数(児童数)13 (14) 回収数 12 割合92%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	3		1	コロナウイルス禍で活動スペースも大変かもしれませんが、工夫しながら確保されている。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8	1		3		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	3		5		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	11			1	個々に計画を立てられて作成されているのでわかりやすく私は、満足している。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9			3		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	4		7		コロナ禍で学童との交流機会はなかったが、地域活動に参加し地域の人々と交流できた。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11			1		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12				連絡帳を通じていろいろ伝えてくださるので納得できますし共通理解ができていると思う。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	1		1		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	3		6		コロナ禍で保護者全員参加の機会はなかったが、少人数による面談の機会は確保できた。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1		3		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10			2		モニタリング時に保護者との連絡や意思疎通の方法を確認している。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12				わかりやすくホームページ等で発信されているのではないのでしょうか。	
14 個人情報に十分注意しているか	10			2	個人情報には十分注意しながらいろいろな活動をされているのではないのでしょうか。		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	1		5	あまり非常時の説明を聞いたことがないと思います。	既存のマニュアル修正を令和3年度の重点実施項目としてアップル事業所のマニュアルを完成させる。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11			1	月に一度は、避難訓練をされているので子供たちは安心して訓練をできている。	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	12				アップルに行く日はすくウキウキして楽しんでいる。	ご利用者、保護者家族の皆様から高い評価をいただき感謝いたしております。子どもの将来を見通し、楽しんで通える事業所を目指していきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	12				子供自身が楽しく過ごせているのもアップルの支援のおかげ大変満足しております。	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等にに応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。